授　業　概　要

（こども保育科）

授業のタイトル（科目名）	授業の種類	授業担当者	当該科目に関する実務経験
日本国憲法	（ 講義 ・ 演習 ・ 実習 ）	伊藤　晶	

授業の回数	時間数（単位数）	配当学年・時期	必修・選択
15 回	30 時間（2 単位）	1 年・後期	必修

［授業の目的・ねらい］
・　社会福祉の専門家として広く法律全般の基本的知識を修得する。
［授業全体の内容の概要］
・　法学全般を学んでいく。「法とは何か」「憲法」「人権」「行政法」「刑法」「民法」の順に講義を進める。
［授業終了時の達成課題（到達目標）］
・　法律全般の存在意義を、理解、説明できるようになる。
・　私たちの権利保障において、法律がどのような働きをしているか、どのような課題や問題があるのかを、理解し、専門職としての思考を深める。

［授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法］

１～２	法学への誘い	１　法とは何か　２　法源（法の存在形式） ３　法の体系　４　法の効力　５　法の適用と解釈
３～４	統治と法	１　憲法の基礎　２　国民主権と天皇制 ３　立法と国会　４　行政と内閣　５　司法と裁判所
５～６	人権と法	１　人権の在り方について　２　自由と人権 ３　社会生活と人権　４　受益と人権　５　参政と人権
７～８	行政と法	１　行政法の基礎　２　行政と救済
９～１０	犯罪と法	１　刑法の基礎　２　犯罪行為と法　３　刑罰と法 ４　個人的法益に対する罪　５　社会的法益に対する罪 ６　国家的法益に対する罪
１１～１２	財産と法	１　民法の基礎　２　債権と法（１）　３　債権と法（２） ４　物件と法　５　担保物件と法
１３～１４	家族と法	１　親族と法　２　相続と法
１５		期末試験

［使用テキスト・参考文献］
・　三好充　他「ポイント法学」（嵯峨野書院）
＜参考文献＞
・　芦部信喜「憲法」（岩波書店）
・　伊藤正巳「憲法入門・第４補訂版」（有斐閣）

［成績評価の方法と基準］
教科出席率が 80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。
・考査点(75%)
・到達目標の修得状況を測るために、筆記試験により期末考査を実施する。
・平常点(25%)
・授業ノートの提出、その内容が課題に沿ったものである。
・授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。